

めぐみ厚生センター恵友会 会報

第326号

めぐみ厚生センター恵友会

法人本部	0952-25-2797
めぐみ園	0952-34-7722
富士学園	0952-63-0107
ウイズ富士	0952-51-0063

発行人 副島 勉

郵便振替 めぐみ厚生センター恵友会

口座番号：01770-6-12389

事務局 〒840-2223 佐賀市東与賀町大字飯盛1584（めぐみ園内）：tel 0952-34-7722



新栄ボランティア元会長
恵友会幹事
山崎圭子



新栄公民館でボランティア講座が開催され、自治会長・民生委員・婦人会の会員が一年間受講し、平成元年（1989年）4月に『地域ボランティア』として新栄ボランティアが会員40名で発足しました。「無理をせず細く長く、出来る人が、出来る時、出来る事」を合い言葉に活動することにしました。地域には2ヶ所の施設があり、始めて、めぐみ園を訪問して何かお手伝いすることはなじでしようか?と話しかけ、3階の中庭の硝子磨きや窓拭きの掃除をすることになりました。当時、ゲートボールが流行り、利用者とボランティアの人と試合をして交流を深めさせてもらいました。

ボランティアは資金0からの出発でしたので、「ふれあいの広場」の時は、会員から品物を提供してもらい、バザーで販売しました。たこ焼きの道具を天祐団地の自治会長さんが貸してくださいり、タコ焼きを作り販売したり、なかなかの好評で焼き始めから行列ができ最後まで焼いておりました。売り上げより少しばかり寄付もしていました。それからは、恵友会のバザーを手伝つております。また、ほつれ物を縫つたり雑巾を縫つたりしていました。その後、洗濯物をたたむお手伝いをするようになりました。現在でも、めぐみ園の行事には、案内をいただき、ふれあいの広場・夏祭り・運動会・視察研修・クリスマス会等、ほとんどの行事に参加しております。

新栄地区では70歳以上の人暮らしの人には会員手作りの作品を配り、20年になります。これは、「貴方をボランティアの人方が見

す。特に、園舎が緑小路にあつた時の夏祭りでは、男女浴衣を着て参加されており、着付け何度も何度か手伝つておりました。金魚すくいの手伝いや飲み物コーナーの販売等、櫓の上では「新栄首頭」や「むつごろうどん」等を踊つて、楽しませてもらいました。

東与賀に施設が移転してからは、広い敷地に立派な園舎で利用者も伸び伸びと生活され、職員の方は利用者に寄り添い、お世話をされておられる姿を見て、「めぐみ園に入所されている利用者の方は幸せねえ」と話しておられました。

地域では、高齢者を公民館に招いて会員手作りの料理による会食会をし、食事の後の余興も楽しんでいます。その時も、めぐみ園の利用者を招いて「キヨシのズンドコ節」を長い法被を着て踊つてもらいました。大喝采を受け満足そうに笑みを浮かべておられる姿を見て、私たちも嬉しくなりました。

洗濯物たたみや作業を通じて利用者と顔見知りになり、話しかけてこられる様になりました。洗濯物たたみに行くと、「ここにちは」と元気に挨拶され、帰る時も「ありがとうございます」と言つてもらい嬉しいです。当初は月2回伺つており（最近は月1回）、職員さんから「ボランティアの人が来るのを待つておられますよ」と言われ、私たちの励みにもなっています。

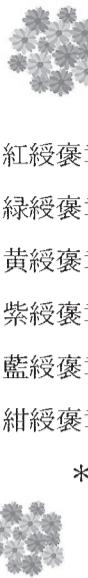
私も会長を23年務め、ボランティアをすることによって多くの人と出会い、喜びを感じ元気をもらっています。発足当初から的人は5人残つていますが、今では若い人が入り会員38名で元気に活動してもらい、有り難いと思つております。今後も、地域に合った活動をして貢献されると思います。そして、東与賀地域の皆様とも交流が深まることを願つております。めぐみ園職員の方々にも、大変お世話になります。

最後に、皆様方のますますのご繁栄を祈念申し上げます。

守っていますよ」との願いを込めて贈つておりました。その後、クッキーを焼いたり、おはぎを作つたりして、民生委員の人に配つてもらっています。また、高齢者70歳以上の二人暮らしの人を公民館に招き、会食会を年3回（今は2回）しております。年末には、新栄小学校の6年生に年賀状を書いてもらい一人暮らしの人に送つております。

この春、めぐみ園での30年間の奉仕活動や交流会、地域の高齢者を対象にした会食会等、地域に貢献したことで「春の褒章」に県内から一团体、「新栄ボランティア」が長年の社会奉仕活動で実績を挙げた団体に贈られる「緑綬褒章」を受章しました。こんな大きな賞を受けとるとは夢にも思つていませんでしたので、大変驚いております。残念ながら、皇居での授章式もコロナの関係で中止になりました。県庁でも中止になりました。しかし、県の職員の方が公民館に来られ重々しく受け取りました。章状は公民館の入り口の真正面に飾つて頂いております。





=豆知識コーナー=

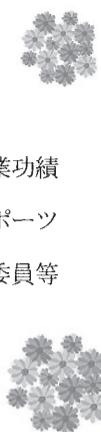
【褒章の種類について】

紅綬褒章 (こうじゅほうしょう)	人命救助
緑綬褒章 (りょくじゅほうしょう)	奉仕活動
黄綬褒章 (おうじゅほうしょう)	農・商・工業功績
紫綬褒章 (しじゅほうしょう)	芸・科・スポーツ
藍綬褒章 (らんじゅほうしょう)	福祉・民生委員等
紺綬褒章 (こんじゅほうしょう)	寄付等

*褒状 (ほうじょう)

褒章を授与される方が団体である場合

今回の「新栄ボランティア」さんの場合です。



★富士学園からのお知らせ★
10月に予定していた「交歓の広場」を今年は中止することになりました。残念ですが、皆様方と心を一つにし、来年開催を目指します!

森田紀男

令和2年8月31日現在
敬称略

◎寄付ありがとうございました。

ございました。

森田紀男、山崎圭子、瀬戸口昭子
村山澄子、山口洋子、石崎好子
釣尾末子、市丸真子、岡梅子
江川秀子、吉田幸子、小宮礼
平山修子、大内道雄、平野弘治
大塚恒順、桑原義勝、古賀保弘
佐藤忠志、勘田勲、高野勝美
平栄喜、鳴原貞雄、古賀洋子
めぐみ園家族会 26名分

令和2年8月31日現在
敬称略



◎会費納入ありがとうございました。
ございました。

IIお知らせII

去る、7月7日から発生した九州地区における大雨の影響で、被害に遭われた皆様方に、心からお見舞い申し上げます。

また、新型肺炎コロナの感染拡大予防のため、行動の自粛はもとより厚生センターの各施設でも、各種行事の中止・縮小の決定がなされています。恵友会の視察研修も中止となり、恵友会として利用者の皆さんと接する機会もなくなり残念に思いますが、気持ちを届けたく、恵友会より8月上旬に各施設に消毒液を贈りました。

来年は、利用者の皆さんと共に過ごす時をもつことが出来るように、頼つてやみません。

会員の皆様も、予防の徹底を図りお過ごし下さい。

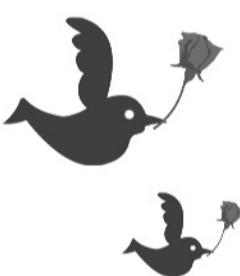
恵友会 会長 副島 勉



=佐賀県知的障害者福祉協会より=

コロナ禍の中で様々な会議や研修も控えている中、7月3日に第1回の施設長会が開催されました。

コロナや災害時の協力体制を図り、今年度開催予定だった九州地区知的障害関係施設職員研修大会は次年度に持ち越し、集合研修やリモート研修も検討しながらチャレンジしていくことになりました。詳細はわかり次第、隨時お伝えしていきます。



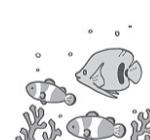
第6期佐賀市障害福祉計画及び第2期佐賀市障害児福祉計画について

7月31日（金）に、第5期佐賀市障害福祉計画及び第2期佐賀市障害児福祉計画（2018～2020）の進捗状況が、第6期佐賀市障害福祉計画及び障害児福祉計画策定委員会で報告され、第6期・第2期（2021～2023年度）の課題・取り組み事案として意見交換がなされました。



【身体障害】10,759人

障害の原因が交通事故
労働災害を大きく占めていたが、高齢に伴う
障害が増加傾向にあり
65歳以上が74%、
各種別を通じ1・2級
(重度等級)が約40%
となっている。



【知的障害】2,438人

数は全体的に緩やかに増加傾向にあり、療育手帳A判定（重度）の65歳以上が多くなっている。



【精神障害】4,128人

精神通院の受給者証保持者（発達障害含）が増加し、18～65歳の2・3級が全体の80%を占めている。

【難病】1,876人

パーキンソン病関連（303人）／潰瘍性大腸炎（261人）／全身性エリトマトーデス（128人）／クローム病（99人）の順で多く、2019年から医療費助成等の対象となる指定難病が331から333疾患に拡大され、障害者総合支援法における難病対象も359から361疾患に拡大された。



【全体】

どの分野も福祉従事者の人材不足が影響しており、特に「医療型児童発達支援」については制度があっても事業所がないのが現状である。利用者の重度化・高齢化・個別化により更なる支援者の補充が必要になる。また、特に相談支援事業における報酬単価の見直しも早急に検討し、具体的な事業展開やサービス提供に繋がる行政の対応も求めた。

【児童】

2018年度に、「佐賀地区医療的ケア児連絡会」（佐賀市・神埼市・吉野ヶ里町共同）が発足し、2021年を目途にアンケート調査を実施予定。発達障害については増加傾向にあるため、各関係機関との連携や、より専門的な支援が必要になっていく。

